

## 平成19年度実施事業 事業評価シート

<b>事業名:</b>	子供の読書推進事業	5-11
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	生涯学習部市民図書館	直通電話	72-2000
担当部長	渡邊 齊志	担当課長	丹羽 秀人
		担当者	五東 秀一

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	ブックスタート事業 ブックスタートフォローアップ事業 学校図書室活性化事業		
(2)事業開始年度	平成18年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち	
	施策項目(大)	(1)生涯学習の推進	
	施策項目(小)	学習機会の整備・充実	
	施策コード	50102	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	子どもの自主的な読書活動の推進を図ることを目的とする。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	0歳から中学生までの読書環境を継続的に整備することで、本を読む子どもを増やす。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	「ブックスタート事業」市内在任の全ての0歳児と保護者にブックスタートパックを手渡ししながら、言葉かけやふれあいの時間の大切さを伝える。「ブックスタートフォローアップ」おはなし会の開催や団体貸出の推進など実施。「学校図書室活性化事業」学校図書室整備の指導、援助
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	新規ブックスタートボランティアを募集し、ビデオ研修会及びブックスタート会場見学・講習会を実施して、ボランティアの確保がはかられた。
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	ブックスタートは全国的に実施。(実施市区町村自治体650 2008年5月31日現在)
(6)事業の立案や実施における協働の視点	事業の実施に際し、全般にボランティアが関与。

3 事業に投入した行政資源				
区 分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)		1,310	1,168	1,059
(2)その他の間接経費(千円)		0	0	0
(3)従事正職員の人件費(千円)	0	5,634	6,100	/
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	0	6,944	7,268	/
事務に従事した正職員延べ人数		0.68	0.68	/

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
入	区 分					支	区 分				
	H17	H18	H19	H20予算	H17		H18	H19	H20予算		
入	市補助金等(A)					出					
	計(B)	0	0	0	0		計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
ブックスタートパックの配布人数(人) (目標値は年度末に判明する実数)	目標値		530	431	未設定
	実績値		473	396	/
	達成率		89.2	91.9	/
おはなし会の開催回数(回)	目標値		未設定	未設定	未設定
	実績値		71	64	/
	達成率		-	-	/
学校図書室整備(校)	目標値		1	1	1
	実績値		1	1	/
	達成率		100.0	100.0	/

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
児童書の貸出冊数(冊)	目標値		未設定	未設定	未設定
	実績値		174,794	173,460	
	達成率		-	-	
おはなし会への参加人数(人)	目標値		未設定	未設定	未設定
	実績値		1,220	920	
	達成率		-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。					
(1) 必要性		(4) 有効性					
ア 市民ニーズ 社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	1 大きい	1	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 密接な関連がある	2		
	2 普通			2 関連がある			
	3 小さい			3 関連はほとんどない			
イ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない	2	イ 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している	2		
	2 民間等でもできる			2 一部達成している			
	3 民間等でやるべき			3 達成していない			
(2) 効率性		(1) ~ (4) の評価ポイント合計		12			
ア コスト削減 コスト削減は可能か	1 不可能である	2	ウ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か			1 極めて妥当	2
	2 難しい					2 一定の妥当性あり	
	3 可能である					3 妥当性が低い	
(3) 公平性		総合評価の参考にしてください。					
ア 受益者負担 さらなる受益者負担は可能か	1 不可能である	1	7 ~ 11		A or B		
	2 難しい		12 ~ 15		B or C		
	3 可能である		16 ~ 21		D or E		

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		事業の成果として数値は下がっているが、ボランティアとの協働による各活動が軌道にのり、着実に成果をあげていると考える。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
	(2) 今後の方向性・課題	更なる成果をあげるため、現在のボランティアの活動状況及び読書環境を検証し、一部見直しを図る。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		*
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
当該事業を3年間実施し、成果を踏まえた上で、学校図書室整備支援のあり方など、実施方法について検証する。			

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		課長評価を了承する。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
	(2) 今後の方向性・課題	ブックスタート事業は軌道に乗りつつあるが、その成果が一過性のものに終わらないよう、フォローアップ事業に一段と力を入れてゆく必要がある。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
フォローアップ事業のうち、特に学校図書室に対する支援を強化する方向で取り組む。			